

「派遣事業に参加して」

下吉田中学校 舟久保紀優

姉妹都市派遣事業に参加した理由は2つあります。まず1つ目は、英語力を伸ばしたいと思ったからです。2つ目は、日本文化をアメリカの人々に伝えたいと思ったからです。

まず、1つ目の英語力を身につけることですが、アメリカに行く前は、アメリカに着いたら、英語を使って積極的に話そうと思っていました。いざ英語を使って話す場面になると、自分の言いたいことを英語で表現するのが難しく、スムーズに会話ができませんでした。しかし、話された英語が理解できずに聞き返すと、ホストファミリーの方は、ゆっくり話してくれたり、分かりやすい英語を使ってくれたりしたので、徐々に会話ができるようになりました。ホストファミリーの子ども達も、英語を聞き取れない時は、ゆっくり繰り返し言ってくれたり、ジェスチャーで伝えようとしてくれたりして、会話をすることができました。自分の話した英語が通じて会話できた時は、本当にうれしかったです。

次に、日本文化について伝えることについては、3日目のホストファミリーとのBBQの時に、派遣団13名でソーラン節を披露しました。ホストファミリーの方々にとても喜んでもらえ、中にはソーラン節の掛け声に合わせて「ソーランソーラン」と言って下さる方もいて、日本文化を現地の方々と一緒に楽しむことができました。さらにワークショップでは、日本文化の一つであるけん玉と一緒に体験しました。現地の子供たちと一緒に挑戦して、できた時はみんなで大喜びしました。日本文化を通してアメリカの人たちと交流できて、とても良い経験ができました。

ホストファミリーと過ごす中で、アメリカと日本では考え方が全く違うことに気づきました。日本では、周囲に遠慮する風潮がありますが、アメリカでは人に気を遣って遠慮するという考えがなく、自分の考えや意思をYESとNOではっきりと表現する人が多いと感じました。ホストファミリーと一緒に何かする時に、私が「大丈夫です。」と遠慮するとホストマザーは「遠慮しないで、困ったことがあれば言ってね。」と言ってくれました。互いに気を遣わず、自分の思ってることを率直に言ってる感じがいいなと思いました。日本とアメリカでは、自己表現の仕方に大きな違いがあると実感しました。

9日間の滞在の中で、印象に残っていることは、ホストファミリーと過ごした日々です。最初は話せませんでしたが、少しずつ英語で会話ができるようになり、一緒にピザを作ったり、バレーボールをしたり、ハイキングをして過ごしたことが楽しかったです。

この派遣事業を通してたくさんの貴重な経験をすることができました。多くの方々に支えられて、充実した9日間を過ごすことができました。今後、英語をさらに勉強して、また海外に行きたいです。コロラドの皆さんありがとうございました！